



西尾寿博 議員

# さまざまな問題の解決策は？

町長 ▶ 再発防止の具体策を検討

**問** ごみ袋の収入金紛失問題、中毒患者が出た山香荘問題は、職員同士の信頼関係が失われた結果ではないのか。

やり方が違っていった3町が合併し、上司のやり方に不満を持ちながら、仕事をしている職員もいるのではないか。

これらの問題は、管理者だけの責任ではない。



6月18日に開かれた職員研修

リスク管理を共有することが、事件をなくす考えではないのか。

また、責任が重い課長になりたくない職員が全国的にいると聞くが、課長と課長補佐の明確な違いは。

## 答 森田町長

管理職で構成のプロジェクトチームが再発防止の具体策を検討している。合併後、一課当たりの職員数が多くなり、管理監督業務が増えた。今後、組織の見直しも

研究テーマと考えている。

### 【小西副町長】

「わたしたちの行動基準」を5回に分け、全職員を対象に研修会を行っている。今後、接遇研修も計画している。

### 【押村総務課長】

課長職の職階級は5級と6級、課長補佐は4級と管理職手当は課長が3万5000円、課長補佐が2万5000円。両職とも、残業手当はない。また、課長補佐は労働組合員で課長は非組合員。

## 問

堆肥センターは、水分調整剤の確保、悪臭公害、建設費用等の問題をクリアすることが大事。

- ①その進み具合は。
- ②町内にある団体所有の堆肥センターは利用可能か。

## 答

### 森田町長

- ①畜産廃棄物処理問題等もあわせ、農協や関係機関と検討会を立ち上げ、良質な有機堆肥の供給体制を作りたい。
- ②その施設は補助事業

で建てているので、堆肥センターだけ利用することになると、難しいのではないかと。畜産団地の利用の仕方が大きなポイント。相手側の状況を把握し進めてみたい。

# 堆肥センターはできるか？

町長 ▶ 進めていきたい



黒字経営の伯耆町堆肥センター